

## インターネットで友達に「会おう」と言われたら…

誘われたら、必ず保護者や先生に相談するように指導してください。

子どもが子どもの用のチャットに参加していたら、子どもになりすまして参加してきた幼児性愛者に騙され、誘い出されて犯罪に巻き込まれるといったこともあります。子どもに限らず、「出会い系サイト」と呼ばれるメル友などと知り合うきっかけとなるホームページを通じた知り合いも要注意です。「顔の見えないインターネットの友だち」は、危険だということを十分説明しましょう。



## 知らない人からメールやあやしいメールが来たら…

知らない・誰からかわからないメールは、絶対開けないように指導してください。

メールの中には、全く知らない人や何が書いてあるかわからないメールもたくさんあります。こうしたメールを開けると、アダルトサイトや出会い系サイトなどの広告メールやコンピュータウィルスに感染しているものもあります。



## ホームページを見るときは…

興味本位でホームページを見ないよう指導してください。

いわゆるネットサーフィンをしてしまい、気が付いたら有害な情報が掲載されているホームページにたどり着いてしまうことがあります。中には、高額な料金を請求をされる場合もあります。コンピュータにフィルタリングソフトを導入するなどのなど手立てをとるとともに、子どもに十分な説明をお願いします。



## ネットに書き込みをするときは…

できるだけ丁寧な言葉で表現するように指導してください。

メールや掲示板、チャットでの会話は、基本的にコミュニケーションです。顔をあわせてなら、相手の表情を見ることができですが、ネットでは細かいイントネーションが伝わりにくいことが多く、誤解をよんだり、いじめに発展したりします。



### ☐ < 冗談のつもりが… > という危険があります。

インターネット上に一度アップロードした画像は、コピーが繰り返されて拡散し、完全に消すことは難しくなり、その画像に一生悩まされる可能性があります。また、知らない人に自分の活動場所や内容を教えることにもなります。特にスマートフォンでは、簡単な操作で投稿できます。

○店が閉店するなどの実被害につながり、子どもの人生に悪影響を及ぼすことがあります。不用意な画像のアップロードはさせないようにしましょう。

### ☐ < ただのプレゼント応募のつもりが… >

プレゼントに関するサイトやゲームの登録などにすぐアクセスするのは危険です。入力した個人情報が悪用される危険性があります。



### ☐ < 学校でのいじめが… >

SNSは、インターネットは世界中につながっています。

会話やスタンプの受け止め方の違いからトラブルになったり、自分や友達の個人情報や写真をネット上に公開することで、思わぬ結果を招くこともあります。何気ない投稿がさらに相手を傷つけ、より広範囲に拡散させることにもなります。また、一度アップロードしたものは完全に削除することは不可能です。



## 対策

- 個人情報伝える場合には、
  - 会員登録などの個人情報の入力、保護者が一緒にしましょう。
  - 家族や友達の個人情報を、本人の許可なく他人に伝えさせないようにしましょう。
- 言葉による直接のコミュニケーションを積み重ねることで信頼関係を築くことの大切さを、普段から子どもに伝えていきましょう。

- 子どもだけで動画や写真をアップロードしないことを約束しましょう。
  - 子どもの不適切な画像や動画をアップロードされた場合は、まず警察に相談しましょう。
- 書き込みをするときは、丁寧な言葉で表現し、安易に絵文字やスタンプなどですまさないよう説明しましょう。
  - 子どもが相談しやすい環境を作り、兆候を早めに察知できるように注意を払いましょう。
  - メールの内容については、保護者同士でも頻りに情報交換を行うように心がけましょう。